

製品名: PSMC3 マウスモノクローナル抗体**カタログ番号: AMM81702**

研究使用のみ

概要

説明	マウスモノクローナル抗体
宿主	ねずみ
応用	WB,IHC,ICC,ELISA,FC
反応性	人間、ネズミ、サル
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	Mouse IgG1
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	0.05%アジ化ナトリウムを含む PBS 中の精製抗体
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,IHC 1:200-1:1000,ICC 1:200-1:1000,ELISA 1:5000-1:20000,FC 1:200-1:400
分子量	49kDa

抗原情報

遺伝子名	PSMC3
別名	TBP1
遺伝子 ID	5702.0
SwissProt ID	P17980
免疫原	大腸菌で発現したヒト*** (AA: 53-152) の精製組み換え断片。

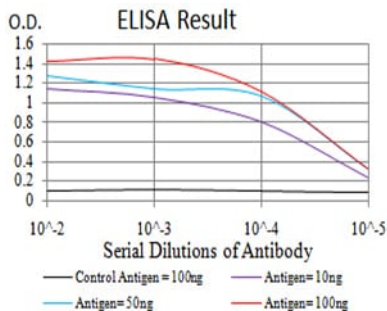
背景

26S プロテアソームは、2つの複合体（20S コアと 19S 調節因子）から構成される、高度に秩序立った構造を持つ多触媒性プロテアーゼ複合体です。20S コアは、28 個の異なるサブユニットからなる 4 つのリングで構成されています。2 つのリングは 7 個のアルファ

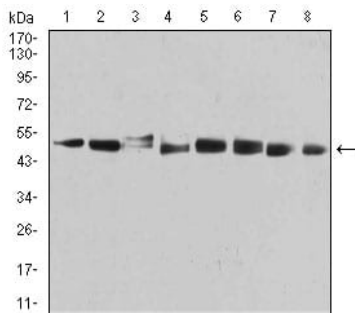
サブユニットから構成され、残りの2つのリングは7個のベータサブユニットから構成されています。19S調節因子は、6個のATPaseサブユニットと2個の非ATPaseサブユニットを含むベースと、最大10個の非ATPaseサブユニットを含むリッドで構成されています。プロテアソームは真核細胞全体に高濃度で分布しており、リソソームを介さないATP/ユビキチン依存的な経路でペプチドを切断します。改変型プロテアソームである免疫プロテアソームの重要な機能は、クラスI MHCペプチドの処理です。この遺伝子は、シャペロン様活性を有するトリプルAファミリーATPaseのサブユニットの一つをコードしています。このサブユニットは、HIV tatタンパク質への結合においてPSMC2と競合し、ウイルスタンパク質と転写複合体との相互作用を制御している可能性があります。9番染色体上に偽遺伝子が同定されています。

研究分野

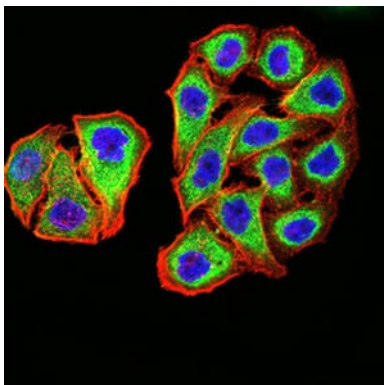
画像データ



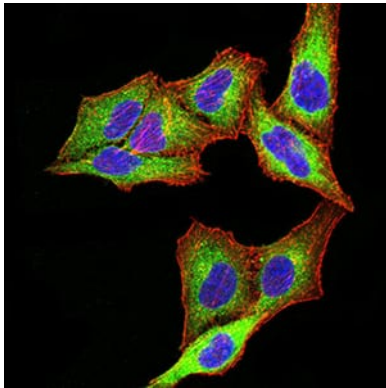
黒線: コントロール抗原 (100 ng) ; 紫線: 抗原 (10 ng) ; 青線: 抗原 (50 ng) ; 赤線: 抗原 (100 ng)



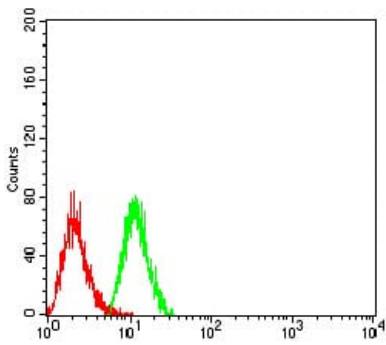
MCF-7 (1)、PC-3 (2)、T47D (3)、SW620 (4)、COS7 (5)、C6 (6)、HELA (7)、およびA431 (8)細胞溶解物に対するPSMC3マウスmAbを用いたウエスタンブロット解析。



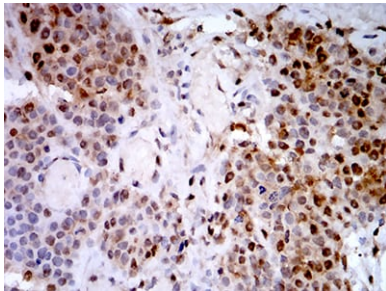
PSMC3マウスmAb (緑)を用いたMCF-7細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光DNA色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



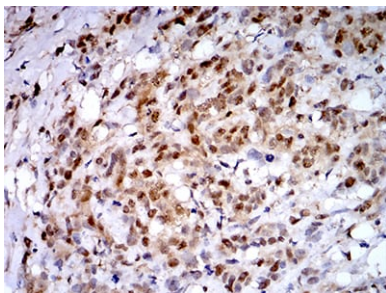
PSMC3 マウス mAb (緑) を用いた SK-OV-3 細胞の免疫蛍光染色。青: DRAQ5 蛍光 DNA 色素。赤: Alexa Fluor-555 ファロイジンで標識されたアクチンフィラメント。



PSMC3 マウス mAb (緑) とネガティブ コントロール (赤) を使用した Hela 細胞のフロー サイトメトリー分析。



DAB 染色による PSMC3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト膀胱癌組織の免疫組織化学分析。



DAB 染色による PSMC3 マウス mAb を使用したパラフィン包埋ヒト乳癌組織の免疫組織化学分析。